

Press Release

報道関係者各位



2019年 10月 16日

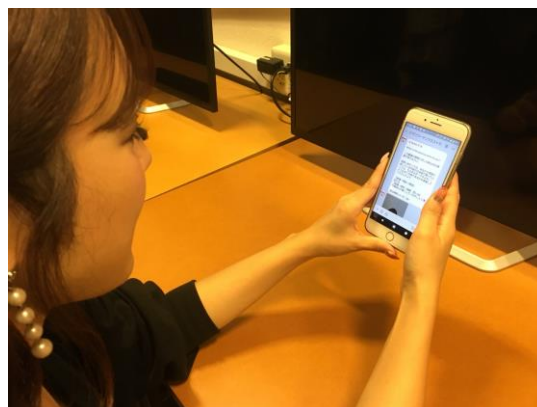
ジー・ブーン株式会社

＜IT企業の取り組み＞ 世界に通用する人材になるには、簡単な言葉で大切なことを話すこと 自分の夢を応援する社内制度「英語コミュニケーション研修」 社長・役員が自ら体現 ITエンジニアにも導入

ITサービス事業を運営するジー・ブーン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:後藤稔行)は、数々のユニークな取り組みを行っています。また当社は、企業と社員、双方の夢実現の為に働く日本唯一の「ドリーム企業」と銘打ち、社員の夢を応援する社内制度があります。その1つに「英語コミュニケーション研修」を2年前から導入し、社長・役員は全員習得、今年の6月からITエンジニアにも導入し、成果が出ています。

■相手に意思や意図を伝える“世界標準英語”を身に付ける

この研修は、ネイティブ並みの英語や TOEIC の高得点を目指すのではなく、“世界標準英語”、つまり伝わる英語を学んでいきます。大事なことは、相手に自分の意志や意見を伝えることです。外国人は、まず結論から述べ、それにプラスして自分の考えや理由を述べます。それに対し、日本人は結論が出てくるまでの置きが長いうえ、文法に忠実に話そうとするあまり、言葉が出てこないなど日本人独特の思考回路や、学校教育の弊害等もあり、英語が話せない人が多いことも事実です。



この研修は「英会話」ではなく「英語コミュニケーション」と銘打ち、日本人が英語で挫折する要因を徹底分析し、英語が苦手な人でも話せるように編み出された学習方法です。また、学習は「LINE」で行うため、スクールに行く時間も省け、スキマ時間にいつでもどこでも習得が可能です。

研修は、LINE 動画を使用した課題方式で、講師の質問に英語で答えることを繰り返します。それにより、瞬時に英語で答える会話力が身に付きます。繰り返し行う事で、大切なことを伝える英語、つまり“世界標準英語”を養っていきます。

当社は、社員の夢を応援すると同時に、これからは日本国内だけではなく世界に通用する人材の集団にしなければ企業は生き残れないと考えているため、2年前の2017年にまずは社長と役員が自ら体験したところ、全員英語が話せるという成果が現れました。そこで、今年の6月から会社負担でITエンジニアにも導入したところ、これまで課題だった英語圏ユーザーとのコミュニケーションが驚くほどスムーズに改善されるなどの成果が出始めています。

■「英語コミュニケーション」のアウトプットの場も用意

当社は、この「英語コミュニケーション研修」の成果を、月1回、当社の貸し会議室「アイデアの城」で、この研修メソッドを編み出した上田千代丸講師のセミナーで受講生がアウトプットをする機会を設けています。また、このセミナーでは上田講師の他に、帰国子女など英語が日常的な環境にあるゲストも参加していることから、社員達は自ら学んで習得した英語コミュニケーションスキルを表現する機会があることで、さらに表現力が磨かれます。



また、このセミナーは普段出向先に出向いたまま、顔を合わすことのない社員どうしが会える機会もなっているため、交流の場にもなっています。

この制度は、英語をツールに社員各自が伝えたいことを表現でき、かつ強い信頼関係を生み出しています。



専務取締役：堀田 勝義(50歳)

この研修は、英語音痴の私が、50歳から始めても話せる凄い英語研修メソッドです。私はITプロジェクトを遂行する上で、どうしても海外ユーザーとのコミュニケーションが必須になってきます。そのため、必死にTOEICなど勉強してきましたが、いざ英語を話すと全然、話せない。とてもストレスでした。

もう、一生、英語は話せないと思っていましたが、この研修制度を受講後、たったの6か月で、ある程度の成果がだせるようになりました。この学習メソッドは、目から鱗の内容ばかりで、驚くほど、わかりやすいです。



ITサービス事業部マネージャー：工藤 裕介(39歳)

今まで、様々な英会話スクールに通いましたが、仕事やプライベートが忙しくなると、足が遠のいてしまい、途中挫折してしまうということを繰り返してきました。この研修はLINE動画でのやり取りが中心なので自分のペースで進められるところがいいですね。英語への苦手意識がなくなってきたことが一番ですが、日本語でもいかにシンプルに言いたいことをまとめるかという意識を持てるようになりました。チームメンバーに対しても簡潔な指示を出せるようになり普段の業務にも役立っています。



ITサービス事業部 チーフ:島袋 遥(25歳)

海外旅行が大好きで観光に困らないレベルの英語は話せますが、海外ユーザーとのやり取りの際に、間違った文法だったらどうしようと消極的になってしまう場面が多々ありました。しかし、この研修で自分の意志を相手に伝えることが大事だと気付き、今までよりも積極的に発言をするようになりました。実際、海外ユーザーにもこちらの意思は問題なく伝わっており、正しい文法なんて大事なことはなかったのだと感じています。今後は当社の海外新規事業のサポートもしていきたいと新たな夢も広がっています。

当社は、今後も夢とビジネスの融合を軸とし、夢を叶えるために必要で有利なモノやサービスの提供を、社内外に積極的に取り組んでいきます。

【制度概要】

- 名称: 英語コミュニケーション研修
- 時期: 2017年に社長・役員に導入
2019年6月から会社負担でITエンジニアに導入
- 内容: 「英語コミュニケーション」を用いたLINEによるeラーニング研修
LINE動画を使用した課題方式で、講師の質問に英語で答えることを繰り返す。
それにより、瞬時に英語で答える会話力が身に付き、繰り返し行う事で、大切なことを伝える英語、つまり“世界基準英語”を養っていく。
- 効果: ・IT海外ユーザーとのコミュニケーションが、スムーズに行えるようになった。
・海外新規事業での交渉が、ダイレクトに行えるようになった。
・英語をツールに社員各自のポテンシャルが発揮できるようになった。
・実務の他、自分の夢が追いかけれ、強い信頼関係を構築。

■講師 上田千代丸(うへだ ちよまる) 株式会社フイス代表取締役

立教大学卒業後、海外でビジネスをするために英語を独学で勉強し、1年間でTOEICスコアを500点から900点に上げる。しかし、海外に行くも「全く話せない」という状況に陥り、自身が勉強してきた英語と、話すための英語が違うことを発見し、その違いを分析していく中で、英語が話せるようになる独自メソッドを確立する。現在は各国大使と日本企業の交渉の通訳を担うなど、世界各国のトップエリートと英語で仕事をしながら、「英会話」ではなく現実的に習得可能な「英語コミュニケーション」を普及している。



■会社概要

- 社名 ジー・ブーン株式会社
- 英文社名 ZEEBOON Co., Ltd.
- 代表取締役 後藤稔行(ごとうとしゆき)
- 本社所在地 東京都千代田区神田須田町2-19 野村第3ビル 6F
TEL 03-5207-8180 FAX 03-5207-8189
- ホームページ <http://www.zeeboon.co.jp/>
- 設立 2006年7月7日
- 資本金 4,180万円
- 事業内容 IT支援事業
タイビジネス支援事業
貸し会議室運営
教育セミナー事業

※当社は、企業と社員、双方の夢実現の為に働く2ゴール達成企業「ドリーム企業(※商標登録第5592966号)」並びに「ドリームマネージメント(※商標登録第5539813号)」を目指しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

ジー・ブーン株式会社
広報担当: 田村/桜井
電話: 03-5207-8180 E-mail: pr@zeeboon.co.jp